

I T技術・知識等に関するチェックシート

(要件)

次以下の1又は2のいずれかに該当した場合に要件を満たすものとする。

- 1 「(1) I T関連の資格、大会での実績、講師経験等」の、いずれか1つでも該当すること。
- 2 「(2) I T関連の技術・知識」の「① I T技術利活用の実績」、「② N C機等の利用の実績」は、それぞれ1つ以上該当し、両項目の合計で3つ以上に該当すること。

区分	チェック項目	チェック
(1) I T関連の資格、大会での実績、講師経験等	ITスキル標準 ^{*1} のスキル習熟度レベル3以上の資格(情報処理技術者試験高度試験、情報処理安全確保支援士試験合格者、情報処理技術者試験応用情報技術者試験など)	
	技能検定のプログラム課題を有する1級資格 ^{*2}	
	技能五輪全国大会又は若年者ものづくり競技大会のうち、「メカトロニクス」「ITネットワークシステム管理」「オフィスソフトウェア・ソリューション」「ロボットソフト組込(移動式ロボット)」職種銅賞まで	
	ITを活用した生産性・品質向上に係る公的機関が実施する訓練、認定職業訓練など、公共職業訓練と同等の訓練の講師を勤めた経験を有すること	
(2) I T関連の技術・知識 ① I T技術利活用の実績	表計算ソフトなどを活用してデータを分析したことがある。	
	生産設備のIoTなどのセンシング技術を活用したことがある。	
	AIを活用したことがある。	
	クラウドシステムなどの外部のサーバ等のデータを活用して、情報を分析したことがある	
	独自の生産管理システムを導入したことがある	
	ロボット、センサー、カメラ等で収集したデータを分析したことがある	

区分	チェック項目	チェック
② NC機等の利用の実績	NC機やマシニングセンタを新たに導入して生産性の向上を行ったことがある。	
	NC機やマシニングセンタの加工プログラムを改善したことがある。	
	CAD/CAMなどを導入して、生産性の向上を行ったことがある	
	生産データ収集のためにNC機等にロボット、センサー、カメラなどを設置したことがある。	
	技能の見える化や熟練技能の継承のためにロボット、センサー、カメラなどを設置しデータの収集やマニュアルの作成などを行ったことがある	
	新たにバーコードを導入したり、バーコードの改善を行ったりして生産管理データを収集したことがある。	
	データ収集のためのタグの設置をしたことがある	

※1 各種 IT 関連サービスの提供に必要とされる能力を明確化・体系化した指標であり、産学における IT サービス・プロフェッショナルの教育・訓練等に有用な「ものさし」(共通枠組)を提供しようとするもの

参照 独立行政法人情報処理推進機構 HP <https://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/itssl.html>

※2 機械加工職種(数値制御旋盤作業、数値制御フライス盤作業、数値制御ホブ盤作業、マシニングセンタ作業)、放電加工職種(数値制御形彫り放電加工作業)、工場板金職種(数値制御タレットパンチプレス板金作業)、機械保全(電気系保全作業)、電気機器組立て職種(シーケンス制御作業)、機械木工職種(機械木工作業)、テクニカルイラストレーション職種(テクニカルイラストレーション CAD 作業)、機械・プラント製図職種(機械製図 CAD 作業)に限る

その他の特記すべき事項

IT技術やNC機の導入などの実績など、上記項目にない特記すべき事項を記入。

特記すべき項目	概要